

埼 剣 連 第 334 号
令 和 2 年 3 月 3 日

各加盟団体会長 様

公益財団法人 埼玉県剣道連盟
会 長 山 中 茂 樹

第 24 回 埼玉県女子剣道選手権大会
兼第 59 回 全日本女子剣道選手権大会予選会の
実施について(通知)

このことについて、下記のとおり実施しますので、適任者を選考し、
申し込まれるようお願い致します。
なお、本大会は、令和 2 年 9 月 13 日(日)長野県において開催されます。

記

- 1 日 時 令和 2 年 5 月 30 日(土) 12 時 30 分受付開始
午後 1 時受付終了
※第 29 回 埼玉県高齢者剣道大会終了後 開会
- 2 会 場 県立武道館 主道場
- 3 参加資格 ① 年齢満 18 歳以上とし、段位の制限はない。
(年齢計算は、令和 3 年 4 月 1 日を基準とし平成 15 年 4 月 1 日以前に
生まれた者)
② 予選会出場は 1 か所とする。違反した場合は出場を取消す。
- 4 申込方法 申し込みは、「全日本女子剣道選手権大会予選会登録フォーム」
より 5月7日(木)までに申し込みください。
※申込者のない加盟団体も御報告ください。
- 5 そ の 他 本連盟として傷害保険に加入しています。なお、大会中の負傷、
疾病については、応急処置のみ行います。
保険証を持参のこと。

★大会終了後、一般会員及び参加選手等を含む稽古会がありますので多くの
参加をお願いします。

剣道用具の取り扱いについて

- 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表と図のとおりとする。
ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。
- 小手はこぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手指部および小手ふとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ふとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- 面ふとん部は安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保する。（構えたときに肘関節が隠れること）

表（大学生・一般女子）

		一刀の場合	二刀の場合	
			大 刀	小 刀
長さ		120 c m以下	114 c m以下	62 c m以下
重さ		440 g 以上	400 g 以上	250～280 g 以上
太さ	先端部最少直径	25m m以上	24m m以上	24m m以上
	ちくとう最少直径	20m m以上	19m m以上	19m m以上

図、竹刀の先革長、先革先端部最少直径、ちくとう直径の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

<ちくとうの最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上

